

7万部突破！『ずるい考え方』待望のまんが化！！



# まんがで身につく ずるい考え方

2021年1月10日(日)発刊



株式会社あさ出版(代表取締役:佐藤和夫、所在地:東京都豊島区)は、『まんがで身につく ずるい考え方/木村尚義(著)、星井博文(シナリオ)、たかうま創(作画)』を2021年1月10日(日)に刊行いたします。

「発想の枠」を広げる“ラテラルシンキング”ですべてうまくいく

累計7万部突破のベストセラー『ずるい考え方』が“まんが”となって登場。

“ずるい考え方”とは、“ラテラルシンキング(水平思考)”とも呼ばれ、日本では古くから一休さんのトンチ話でも知られる、発想に一切の“制約”を設けず、あらゆる可能性から問題を解決しようとする考え方です。

本書では、突然現れたキツネが、主人公を翻弄しながらも仕事や家庭の問題を解決すべく“ずるい考え方”をジョージルーカス、スティーブジョブス、松下幸之助など著名人のエピソードと共に導いていきます。「真面目にやっているのに成果が出ない」「一生懸命やっても結果につながらない」そんな風に悩んでいる方にぜひ、読んでいただきたい一冊です。

## 書籍名 : まんがで身につく ずるい考え方

刊行日:2021年1月10日(日) 価格:1,430円(税込)  
著者名:木村尚義(著)、星井博文(シナリオ)、たかうま創(作画)  
ページ数:184ページ ISBN:978-4-86667-257-1

### 【目次】

- Chapter 1 ラテラルシンキングでワクワク感をつくりだせ！
- Chapter 2 相手が何を考えているか、シンプルに理解すれば、思いどおりに相手を動かせる
- Chapter 3 高すぎるハードルほど、くぐりやすい
- Chapter 2 視点を変えられたら一人勝ち

### 【著者プロフィール】 木村尚義 (きむらなおよし)



日本で最もラテラルシンキング(水平思考)の書籍を執筆している、ラテラルシンキングの専門家。株式会社創客営業研究所代表取締役。アカデミーヒルズ六本木ヒルズライブラリー公認メンバーズコミュニティ個人事業研究会会長。

OAシステム販売会社にて不採算店舗の再建を命じられ、ラテラルシンキングを駆使して5倍の売り上げアップを達成。その後、外資系IT教育会社にて数多くの研修を行い、受講者は3万人を超える。2008年に株式会社創客営業研究所を設立。従来の発想の枠を越え、常識にとらわれないビジネススタイルを「創客営業」と名付け、全国にてセミナーを実施。商社、通信、銀行、保険などの全国の企業や自治体、官公庁へ逆転の発想セミナーを実施。訪問企業は1000社以上となる。著書に7万部超のベストセラー『ずるい考え方 ゼロから始めるラテラルシンキング入門』(あさ出版)、『天才たちの思考法』(総合法令出版)など多数。



# 仕事でもプライベートでも使える“ラテラルシンキング”

“ラテラルシンキング”は、「たった一つの正しいとされる答え」にとらわれず、あらゆる可能性から問題を解決しようとする考え方です。

仕事、学校生活、人間関係ほか、日常生活の様々な問題を“ラテラルシンキング”を活用してうまく解決する方法が、まんがと解説で習得できます。



## 「ジョージ・ルーカス」「松下幸之助」偉人たちの事例も多数掲載

- **スティーブ・ジョブズ**が大学を退学したあともこっそり忍び込み受けていた授業とは。
- **ジョージ・ルーカス**は、なぜ監督の報酬が少なくても仕事を受けたのか。
- **松下幸之助**が、売れなかった自転車ランプを売るためにとった方法とは。

